



# 学校法人村井学園 立川女子高等学校

## SDGs 宣言



立川女子高等学校は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

## SDGs とは

SDGs とは「持続可能な開発目標(Sustainable Development Goals)」のことです。

2015年9月の国連サミットで採択された、2030年までに持続可能でよりよい社会を目指すため、17の目標と169のターゲットから構成された世界共通の目標です。SDGsは、途上国のみならず、先進国に対しても積極的な取り組みが期待されています。

## 立川女子高等学校 建学の精神とSDGs

本校は創立者村井敬民先生の「教育は愛と誠の教育、教育は個性を發揮せしむる事」という建学の精神と伝統を十分に受け継ぎながら、新しい時代を前向きに生きる、知性豊かな女性の育成をめざしてきました。

大正14年に創立以来、「愛と誠」を校訓に、競争に勝つための学びよりも、支えあう学びをもって、だれからも愛される真心を持った女性の育成に取り組んでいます。SDGsの目標のひとつ「ジェンダー平等を実現しよう」の取り組みは、女性の地位向上を目指すために女子校が取り組まなければいけない大きな役割のひとつと考えます。

# 立川女子高等学校の学校教育を通じた SDGs への貢献

## ■ すべての人に健康と福祉を



- ◇ あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する
  - みんなが健康的でこころ豊かな生活を送るためには、多くのサポートが必要だと考えます。本校カウンセラーや校医による、思春期の女子の心と体の問題についての講話を学年別に行っています。この年代の悩みをみんなと共有し、自分の問題としてだけでなく、みんなの問題として考えていくことが大切だと考えます。
  - 保健室では、病気やケガの対応だけでなく、養護教諭と常駐のスクールカウンセラーが生徒一人ひとりに向き合い、よく話を聞き、悩みの解決に向けてサポートをしています。また、生徒本人だけでなく保護者の方の相談にも応じています。

## ■ 質の高い教育をみんなに



- ◇ すべての人々への包摂的かつ公正な質の高い教育を提供し生涯学習の機会を促進する
  - 自分の夢を見つけられるよう、またその夢を実現できるよう、様々な取り組みを行っています。1・2年次で行われる、進路の日(体験授業の日)は、興味のある授業を体験出来る貴重な1日です。
  - 漢字検定・英語検定だけでなく世界遺産検定など、多種多様な検定が学校内で受検でき、検定試験合格のためのサポートもしています。小さな夢の実現が生涯学習をしていく意欲を育てます。

## ■ ジェンダー平等を実現しよう



- ◇ ジェンダー平等を達成し、すべての女性と女児のエンパワーメントを図る
  - 性別に関係なく、自分らしく生きられる社会を実現していくためには、まずは自分の夢をしっかり持つことだと考えます。来年度から始まるSプロジェクトは、自分の夢を見つけるための講座がたくさん用意されています。資格取得を目指したり、興味のある分野の体験授業を受講したり、第2外国語習得を目指したりと様々な挑戦が自分の夢を育てていくはずで、自分ならではの夢の発見が視野を広げ、女性、女の子ということで差別されない社会の実現に力を与えていくと考えます。

➢

# 立川女子高等学校の学校教育を通じた SDGs への貢献

## ■ エネルギーをみんなに そしてクリーンに



### ◇ すべての人々の、安価かつ信頼できる持続可能な近代的エネルギーへのアクセスを確保する

- 校内では水の使用に際し、上水と井水を併用しています。井水の使用割合は 75% 超え、立川市の優れた水資源を大切に使用しています。また、全校舎の照明はLED化し省エネに対応しています。
- iPad などの導入による IT 化を進め、会議、授業における大幅なペーパーレス化が実現し、業務効率化も図れています。

## ■ 人や国の不平等をなくそう



### ◇ 各国内及び各国間の不平等を是正する

- 不平等があるままだと、社会と経済が発展することはできません。貧困もなくなり、すべての人にとって地球をよりよい場所にすることはできないでしょう。女子校だからこそ、女だから〇〇は通用しません。みんな平等が基本です。多様な価値観を受け入れ、お互いを認め合うことがグローバルスキルを養うと考えます。
- 夏季休暇期間を利用して希望者を対象に、オーストラリアでの語学研修プログラムを実施しています。国際化の時代、語学力を向上させるだけでなく、文化の違いや英語でのコミュニケーションの難しさや楽しさを肌で感じ世界の広さを実感し世界の多様なものの考え方を改めて学びます。

## ■ つくる責任、つかう責任



### ◇ 持続可能な消費と生産のパターンを確保する

- 余分なモノをつくり続け、捨て続ける生活を改めないかぎり、食品ロスや資源の無駄使いは止まりません。クッキング部は、立川市のゴミ対策課とコラボレーションをして、ゴミの出ないメニューを考案しました。このメニューは小冊子にまとめられ立川駅などで配布されました。
- 地元のホテルから依頼され地産地消でのおせち料理を考案しました。地元の食材(うど)を使ったこのおせち料理は、年末に販売される予定です。地域の方と協力することは視野が広がり、自然と社会の貢献につながっていきます。

# 立川女子高等学校の学校教育を通じた SDGs への貢献

## ■ 陸の豊かさを守ろう



- ◇ 陸域生態系の保護、回復、持続可能な利用の促進、持続可能な森林の経営、砂漠化への対処、ならびに土地の劣化の阻止・回復及び生物多様性の損失を阻止する
  - IT 化を進め、会議、授業における大幅なペーパーレス化を実現し、トイレットペーパーも再生紙を使用して森を守る手助けをしています。
  - 校庭には、創立以来樹齢 100 年を迎える南京ハゼの大樹をはじめ、校章のモチーフとなっている松等、多くの広葉樹・針葉樹があり、大切に育てています。生徒にとっても癒しの存在として緑の大切さを教えてくれ、環境教育の一環を成しています。

## ■ 平和と公正をすべての人に



- ◇ 持続可能な開発のための平和で包摂的な社会を促進し、すべての人々に司法へのアクセスを提供し、あらゆるレベルにおいて効果的で説明責任のある包摂的な制度を構築する
  - 民族・信条・性的指向に関係なく安心して暮らせる、暴力のない社会をつくるのが求められます。修学旅行を軸とした「総合平和学習」を行っています。「被害者としての戦争・加害者としての戦争」という二つの側面を学び、戦争に伴う環境問題や人権について考え、世界に視野を広げることを目的としています。

## ■ パートナーシップで目標を達成しよう



- ◇ 持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する
  - 消費者としてできることは、環境や社会に配慮して買い物することです。安さばかりを求めず、なるべくフェアトレードの製品を買うことで、環境に優しくして高品質な商品をつくる事業者をサポートできます。このような意識作りも家庭科などの授業で学びます。また、部活動を通じ、仲間や異年齢者、指導者との交流・ふれあいを通して、個々の人格を尊重し、友情を深め、好ましい人間関係を形成するとともに、地域との交わりの機会を広めパートナーシップの構築を図っています。

立川女子高等学校は、  
建学の精神たる「愛と誠」と伝統を十分に受け継ぎながら、新しい時代を  
前向きに生きる、知性豊かな女性の育成をめざしています。  
その時、その瞬間に出来る取り組みをし、常に高い目標を掲げ続けます。  
私たちは、SDGs（持続可能な開発目標）を支援します。